

大都市、そしていちばん住みたいまちへ

平成22年度予算で
重点的に取り組む主な施策



深化する政策推進ビジョン

「元気な大阪」をめざす政策推進ビジョン

持続可能なまちとするために

深化する政策推進ビジョン

地域力の復興

地域を再生し、豊かに
住み続けていくために

未来への投資

将来の大阪の発展のために

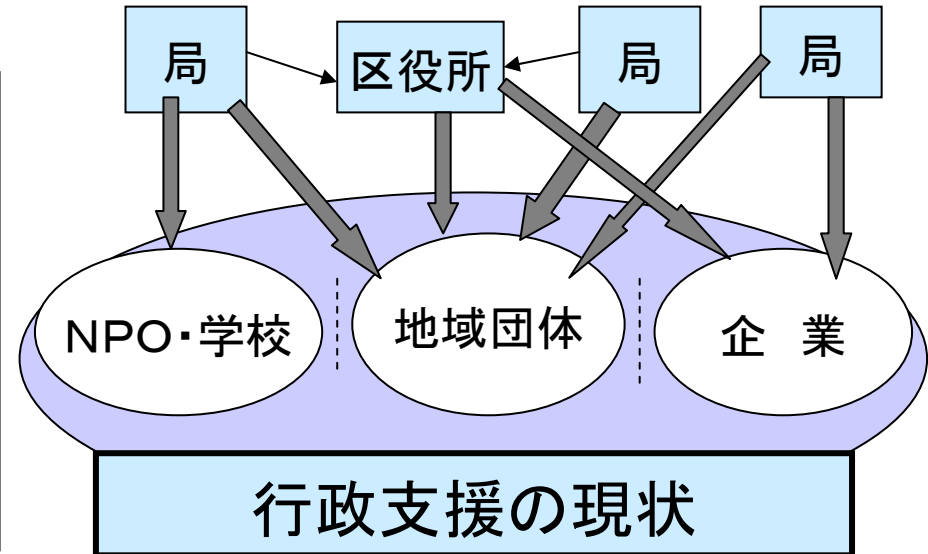
I 地域力の復興

～地域を再生し、豊かに住み続けていくために～

地域力の復興

地域の現状

- ・市民の約3割は高齢者(2025年)
- ・少子化＝15歳未満の減
(1965年69万→2005年31.5万)
- ・町会加入率(2008年70.5%)
- ・地域活動の担い手不足



小学校区で地域力をアップ！

港区の取組み(22～24年度)

地域カルテ
の作成

タウンミーティング
の開催

協働プロジェクト
立上げ・推進

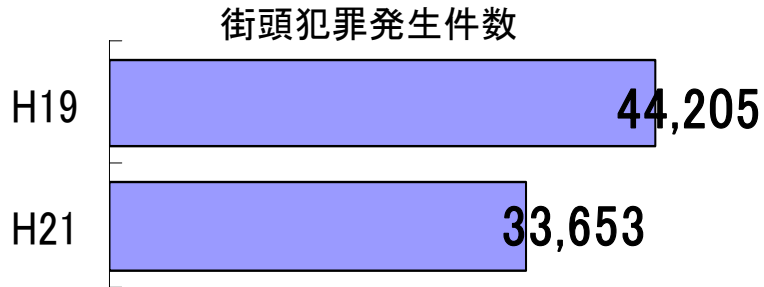


区役所の支援強化

課題解決へ

地域を元気にする取組み

地域防犯対策



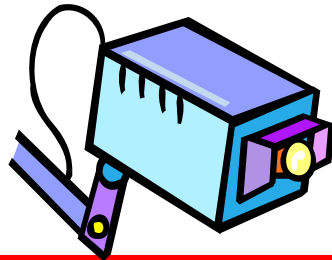
2カ年で**約1万件**の減
街頭犯罪**発生率**でワースト1脱却

さらに...

青色防犯
パトロール拡充
(貸出も)



防犯カメラ設置拡充
民間等補助 1,000台
公共施設 64台

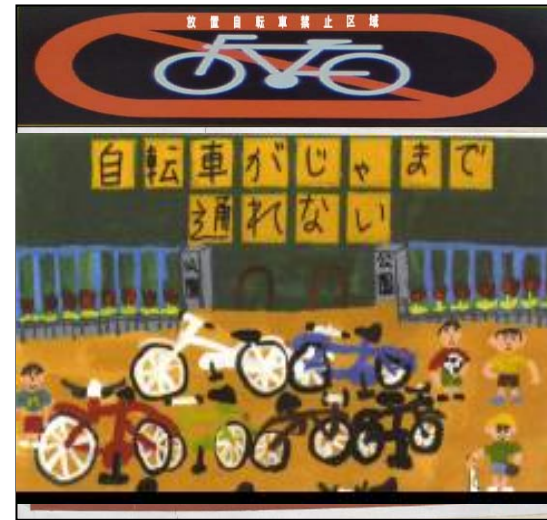


街頭犯罪ワースト1の返上へ

放置自転車対策

約5万台が約**4.2**万台に！
(千日前通では約80%の減)

さらに...



児童の画を
禁止シールに

防犯登録照会オンライン化
→ 保管期間の短縮で撤去を推進

放置自転車ワースト1の返上へ

地域企業の育成・支援

商店街を元気に

消費拡大キャンペーン(H21)
⇒約250の商店街が結集！

新たな取組みへ

中央市場も協力

(仮称)大阪あきない祭り
(3ヶ月間のまちなかイベントなど)

にぎわいの創出魅力の発信

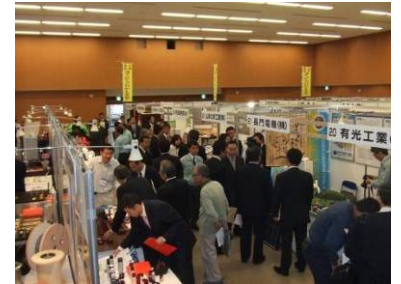
新たな振興施策の展開へ

中小製造業を元気に

大商など支援機関と連携して企画・実施



西淀川工業活性化研究会



東成・生野モノづくりフェスタ

西淀川区の一部で住宅等の
規制による操業環境の維持

経営力やネットワークの強化

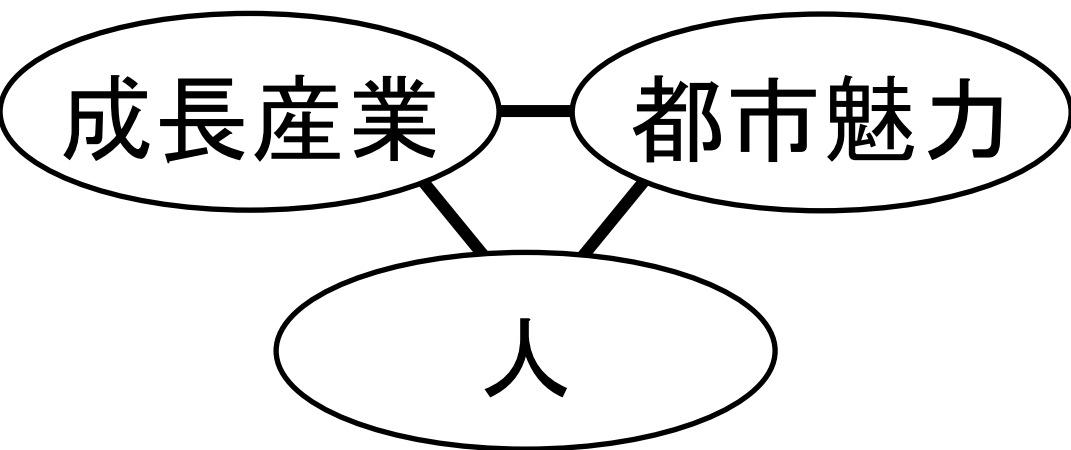
住民とものづくり企業の共生へ

景気対応緊急融資

⇒中小企業の資金調達を引き続き支援

Ⅱ 未来への投資 ～将来の大阪の発展のために～

3つの投資



戦略拠点での展開

大阪駅北地区

臨海部
(咲洲・夢洲等)

再生可能エネルギーの活用

地球温暖化、エネルギー、金融



低炭素社会に向け産業・社会の変革へ

太陽光発電の大規模展開

(10メガワット[住宅3000戸相当] 以上)

電気自動車（EV）の普及拡大



(メガソーラーイメージ)



森之宮地区

エネルギー循環でまちづくり

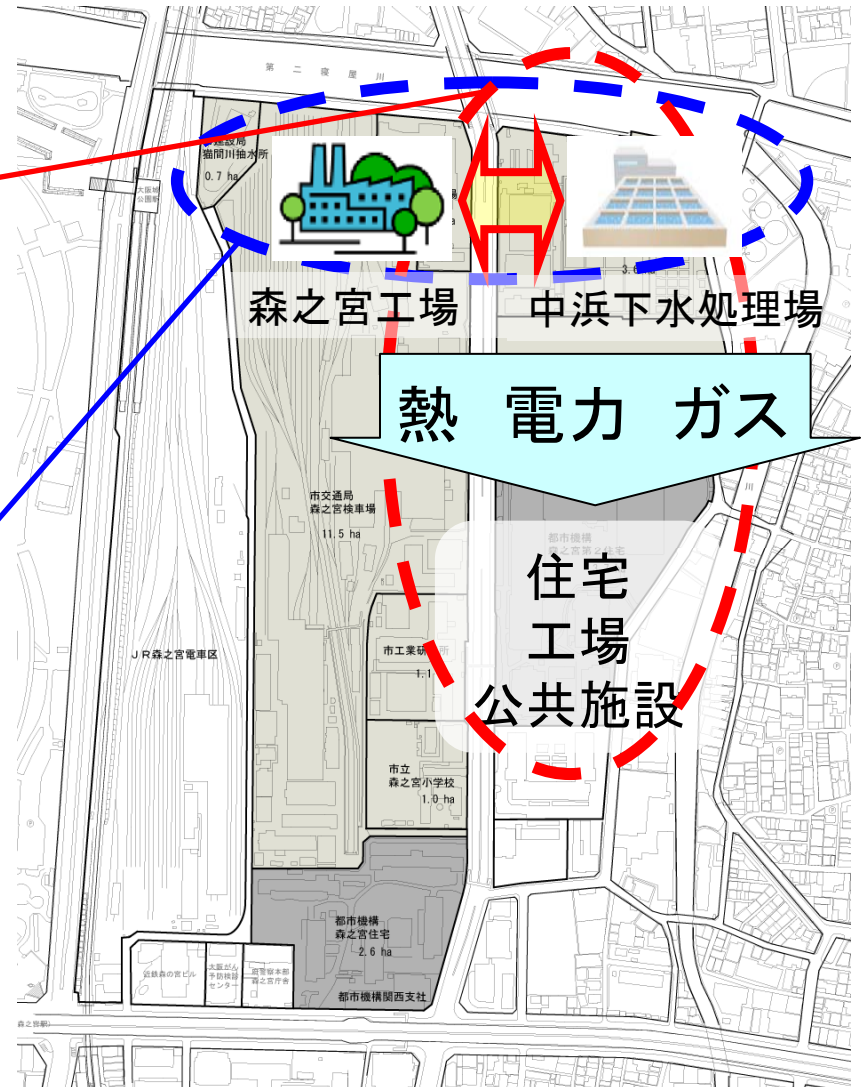
○周辺住宅等と連携した
エネルギーの有効活用

○低温排熱の有効活用

○食品廃棄物のバイオガス化



焼却工場とまちづくりの基本計画



低炭素社会の構築 電気自動車(EV)の普及拡大

低炭素な交通システムへ

関西の強みである二次電池の
市場拡大へ



環境・エネルギー産業の
さらなる成長・強化へ

市民がEVを広く利用できる 機会の拡大

○EVカーシェアリング事業を咲洲等で
展開(10台)

○公害パトロールカー(2台) EV化
青色パトロールカー(5台)

安心して走行できる環境整備

○公的駐車場等に倍速充電
施設(10基)の設置

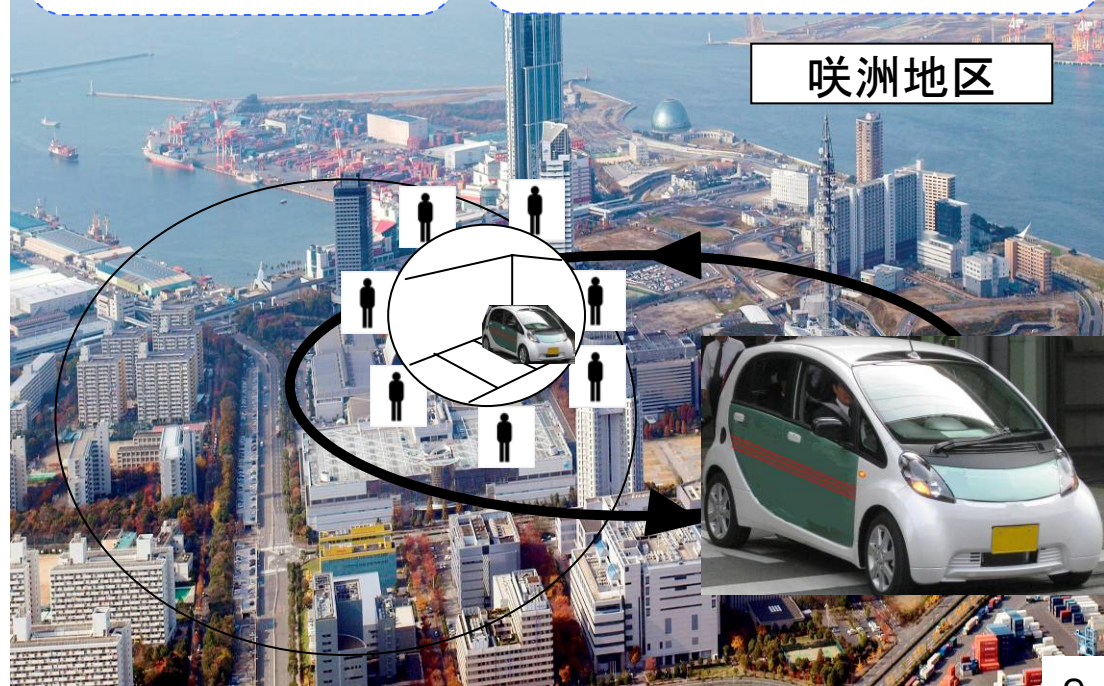
【対象者】

企業
住民
来訪者 など

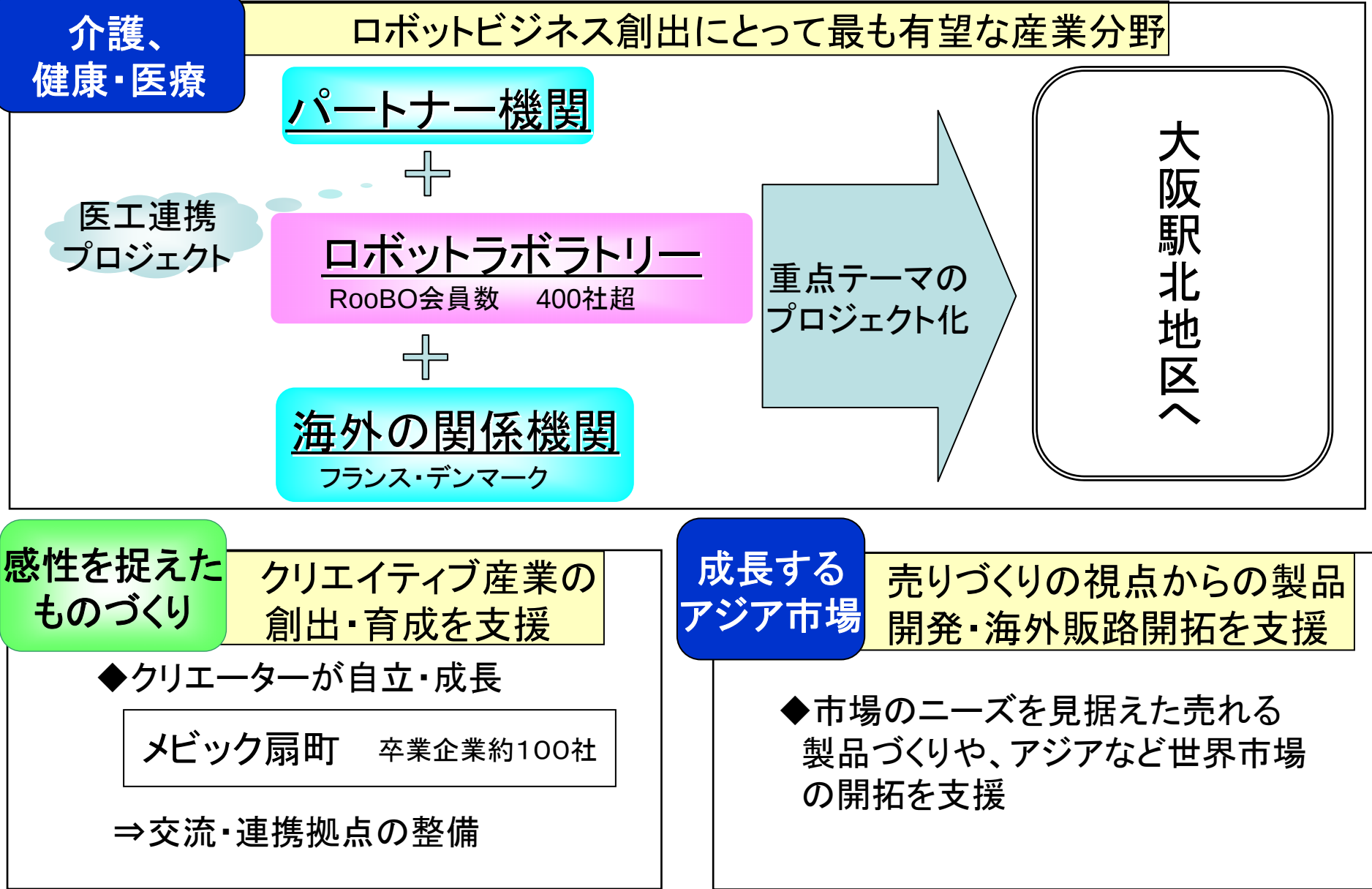
【貸出ステーション候補地】

コスモスクエア駅前周辺
ATC周辺
ポートタウン周辺 など

咲洲地区



成長が見込める産業や市場への参入支援



大阪駅北地区 知的集積からビジネス創造が展開される戦略拠点

平成22年度 大阪駅北地区 さらにステージへ

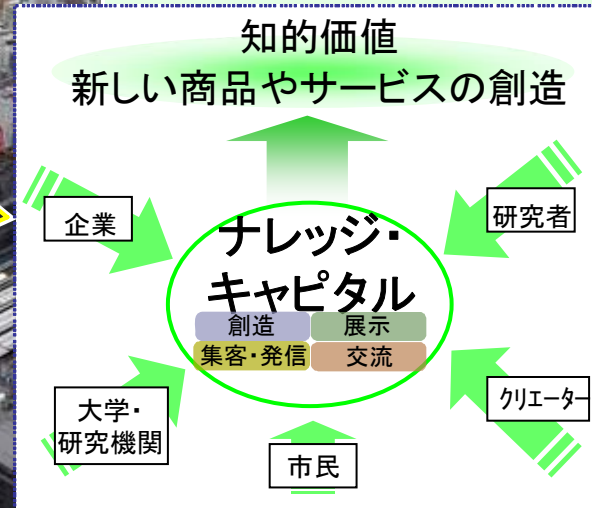
<先行開発区域>

H22年3月
建築着工へ

(仮称)大阪オープンイノベーション
センターの準備開始

H24年度下期
まちびらきへ

大阪駅北地区(24ha)



<2期開発区域>

環境をテーマとした
2期開発ビジョン策定

JR東海道線支線地下化
概略設計に着手

土地区画整理事業
による基盤整備の推進

夢洲先行開発地区

産業振興に不可欠な物流機能の強化

- 埠頭公社の株式会社化
- 国際コンテナ戦略港湾の指定をめざした取組み

企業等誘致・産業振興策

- 誘致プロモーション
- 経済特区制度の創設に向けた検討 など

企業誘致対象用地
約50ha

国際物流機能の強化

夢洲先行開発地区

咲洲コスモスクエア地区

ビジネス・住環境の改善～前倒しで取り組む～

- 大型車の渋滞緩和のため入港料インセンティブなどによる埠頭再編の促進
- ペデストリアンデッキ、防災機能の整備に着手

コンベンション機能等の強化

- 世界観光機関アジア太平洋センターの設置など



夢洲先行開発地区

環境・エネルギー
産業等の集積

国際物流機能
の強化

南・東アジアとの
ビジネス交流・
交易拠点の形成

コンテナ貨物の移転

コスモスクエア駅

ATC WTC

インテックス大阪

咲洲コスモスクエア地区

都市魅力の創造

文化・観光資源を活かした大阪の魅力の向上

○水都大阪2009で得たもの

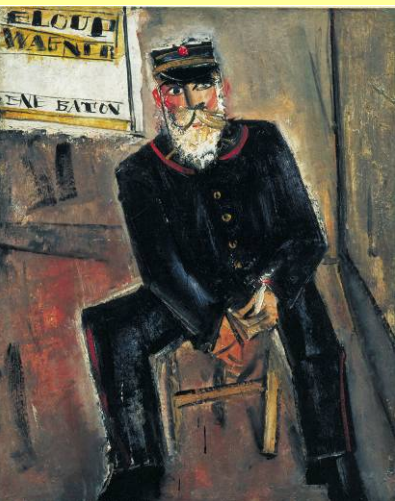
- ◎ 水辺ににぎわいを創出
⇒190万人の来場者
- ◎ 市民・企業・NPOなどが
企画・運営
- ◎ 国・府・市・経済界による
一体的な推進体制



○ムーブメントを継承し 「水都大阪」の魅力の向上へ

- ◎ 秋の水都にぎわいイベント
- ◎ 市民・NPO等の活動支援
- ◎ 継承組織の設置

都市魅力の創造 水都大阪の魅力を活かした観光まちづくり



まちのにぎわいを活かす

○OSAKA光のルネサンス

○大阪城 城灯りの景



文化・歴史を活かす

○近代美術館建設基本計画策定調査

○重要文化財「泉布観」の再生・活用



ホスピタリティを活かす

○コミュニティ・ツーリズム

○まちなか観光案内所



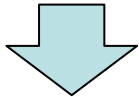
次代を担う人材育成

子育て支援の推進

◆保育サービスの充実

◎待機児童の解消

⇒ 入所枠の確保(4万2千人)
により21年度中に完了



◎新たな保育施策の展開

⇒ 急増する低年齢児の
ニーズに対応



こどもの生きる力アップ

◆確かな学力の育成

◎学力向上強化戦略の推進

○習熟度別少人数授業

○学校元気アップ地域本部事業

8校 → 24校(中学校区) など



◆高等学校のあたらしい姿

大学・産業界等との連携

◎ 新商業高校 (24年4月開校予定)

・ビジネススペシャリストの育成

・高校大学7年間を見据えた教育

◎ 新工業高校

・エキスパートエンジニアの育成

・産業界等と連携し、具体的な方策を検討

Ⅲ 雇用と福祉の連携によるセーフ ティネットの構築

雇用や年金など生活保障制度の再構築も視野に

市民から信頼される生活保護の実施

セーフティネットとして適正に実施

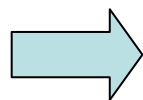
不正を許さない厳正な対応の徹底

喫緊のテーマ

真に生活に困窮する方に対する適切な保障が大前提

○「働ける人には働いてもらう」という基本の確立

○貧困ビジネス事業者への対応



国へ早急に提案予定

- ・ハローワーク「訓練・生活支援給付」の拡充
- ・被保護者支援の枠組みの構築 など

制度の抜本改正など国へ提言

○雇用・年金など社会保障制度のあり方を含めた
制度の抜本改革

○生活保護費の全額国庫負担

地域雇用の創出と人材育成

厳しい雇用情勢

大阪府
完全失業率
(10-12月 速報値)
7.2%

※半数近くが若年者

1. 重点分野雇用創造事業

10億円 新規雇用 288人

成長が期待される分野で新たな雇用機会を創出

介護雇用プログラム

ホームヘルパー2級



生活保護受給者などに優先枠 約60名
未就職の新卒予定者優先枠 約60名

環境

太陽光発電
施工技術



地域

社会雇用
社会的企業

観光

通訳案内士

2. 緊急雇用創出事業

14億円 新規雇用 1,631人

生活保護受給者などに優先枠 約100名

稼動年齢層に
就労自立支援

IV 行政として早急に取り組む必要がある課題への対応

- ◎ 中学校昼食
- ◎ 新型インフルエンザ対策
- ◎ 救急医療対策
- ◎ 火災事故対策
- ◎ あいりん地域の環境改善対策

あいりん地域環境改善事業



【撤去前】

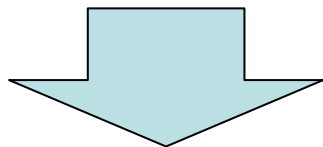
違法屋台の撤去



【撤去後】

地域の環境改善

- 道路の不法占拠対策
- ごみの不法投棄対策
- 公園の機能回復(萩之茶屋北公園)
- 犬の放飼い対策



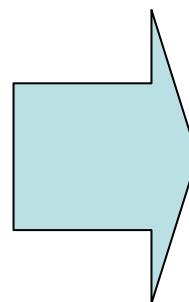
巡回
パトロール

立寄所

行政指導

まちづくりの支援・検討

- 市民協働による地域で意見を出し合える協議の場の形成を支援
- 日雇労働者の福祉・医療施設のあり方、寄場機能の問題等について検討



救急医療対策 ～市民の安心を守るために～

救急安心センター事業の推進

急な病気やケガで
迷ったら #7119

- 緊急性の高い相談には救急車が直ちに出場
- 24時間365日、医師・看護師等が救急医療相談に対応

相談
件数 1日平均:約 460件
3ヶ月間:約4万2千件
(21年10月～12月)

- 平成22年度から堺市、吹田市などの府内市町村との水平連携を目指します。



安心して子どもを産める環境づくり

- 現在、総合周産期母子医療センターは市内に1ヶ所のみ

重症妊産婦やハイリスク新生児の様々な病態への適切な対応が求められる

公的医療機関の役割

- 総合医療センターに総合周産期母子医療センターを設置予定



「大都市、そしていちばん住みたいまちへ」とは・・・

文化が薫る都市格を備えたまち

知恵 創意 熱意

「人」=都市のインフラ

背景

社会の変化

工業社会 ⇒ 知識社会

経済成長のみを重視する社会 ⇒ 心の豊かさや生活の質を重視する社会